

2つのテーマで選りすぐりの収蔵作品を紹介！

■横浜美術館コレクション展 2018年3月24日(土)ー2018年6月24日(日)

「コレクションをつくる。未来へつなぐー近年の収蔵品より」

「人を描くー日本の絵画を中心に」



①



①中島清之《郁代》1934年(中島洋光氏寄贈)
 ③小倉遊亀《良夜》1957年



②石川直樹《ARCHIPELAGO 沖縄本島》2009年(作家寄贈)



④下村観山《ナイト・エラント(ミレイの模写)》1904年(原範行氏・原會津子氏寄贈)

3月24日(土)より開催の横浜美術館コレクション展は、2つのセクションで構成します。

「コレクションをつくる。未来へつなぐー近年の収蔵品より」では、2010年代の収集作品の中から初展示となる作品を中心に、近年とくに厚みを増した近現代日本美術の作品群を、4つのテーマでご紹介します。写真展示室では、新収蔵作品から、土田ヒロミと石川直樹を特集します。横浜美術館は、横浜市の収集方針に則って市に候補作品を提案し、新たな作品を収蔵しています。優れた作品を収集し、さまざまな切り口でご紹介し、適切な環境で守り未来へとつなぐことは、美術館の大切な使命です。

また、「人を描くー日本の絵画を中心に」では、近現代の多様な人物表現をご紹介します。同時開催の企画展「ヌード NUDE ー英国テート・コレクションより」でもご覧いただくように、こと裸体画は西洋の芸術家たちをとらえ、いつの時代も永遠のテーマであり続けてきました。本セクションでは裸体画のほか、特定の人物の相貌や特徴を描いた肖像画や、見る人の心を映す鏡ともなるアノニマスな(匿名の、モデルが特定されない)肖像、また、近代の日本画家たちが理想美を求めて取り組んだ歴史人物画などのテーマにより、作品を展示します。

横浜美術館が誇るコレクションの数々を、ぜひご堪能ください。

会 期	2018年3月24日(土)ー2018年6月24日(日)	観覧料	一般 500(400)円、大学・高校生 300(240)円、 中学生 100(80)円、小学生以下無料 ※()内は有料 20名以上の団体料金(要事前予約) ※毎週土曜日は高校生以下無料(要生徒手帳、学生証) ※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料 ※毎月第3月曜日は横浜市在住の65歳以上の方無料(要「濱ともカード」提示) ※企画展ご観覧当日に限り、企画展の観覧券でコレクション展もご覧いただけます。
開館時間	10:00~18:00 ※2018年5月11日(金)、6月8日(金)は、 20:30まで ※入館は閉館の30分前まで		
休 館 日	木曜日、5月7日(月) ※ただし5月3日(木・祝)は開館	問合せ	〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1 045-221-0300(代表)
主 催	横浜美術館 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]	URL	http://yokohama.art.museum

※この機会に広くご報道いただければ幸いです。

お問い合わせ先 *本日は17時まで在席しております。

横浜美術館 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】 横浜市西区みなとみらい3-4-1 Tel 045-221-0300(代表)
 経営管理グループ グループ長 古賀 Tel 045-221-0307
 広報・渉外チーム 広報担当 鈴木、藤井、埴内(かいと)、山崎 Tel 045-221-0319